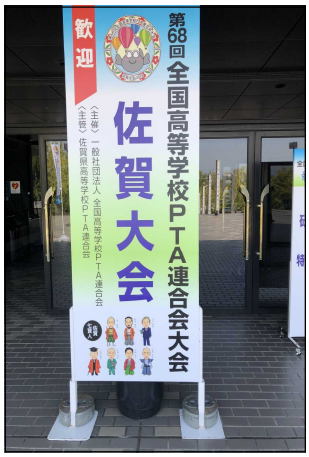
第68回全国高等学校PTA連合会大会佐賀大会　参加報告



北海道釧路明輝高等学校PTA会長　須　藤　伸　一

平成30年８月20日、21日の2日間に渡り、佐賀県佐賀市ほか三市で開催された第68回全国高等学校PTA連合会佐賀大会に、清水副会長、藤井校長と参加してまいりました。メインテーマ「広めよう　高めよう　慈しむ心」サブテーマ「君たちがつくる希望の明日を」の下、全国から約１万人の関係者が集い、講演や分科会における研究協議を通じてPTA活動に対する理解を一層深めることができました。講演並びに参加した分科会の概要を取りまとめましたので、参考にしていただければ幸いです。



講演

「レモンさんのビタミントーク！

講師　ラジオＤＪ　レモンさん（山本シュウさん）

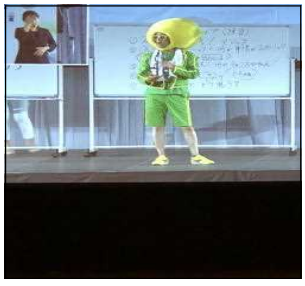


高校卒業後、様々な職を経験し渡米。その際、スカウトされ帰国、30歳でラジオＤＪとしてデビューしたレモンさんの軽妙かつエネルギッシュなトークに、笑いあり感動ありであっという間に時間が過ぎました。

そもそもは娘さんの通っていた小学校のＰＴＡ会長になった折、レモンのかぶり物をして子どもたちや保護者を引きつけ、その活動が書籍に取り上げられ、世に知られるようになったとのことでした。

現在は被災地支援や献血推進などに積極的に取り組むとともに、大阪大学の講師を務めるなど、マルチな才能をいかんなく発揮されておられます。

『Ｗｅ　are　シンセキ！』が合言葉のレモンさんの思いは、「あなたの命はあなただけのものじゃない。」ということ。とかく生きにくくなっている世の中で、遠慮せずに「助けて」と叫べることが大切であり、叫んでいい権利があるということを、レモンさんの身近な人の死を通して熱く語ってくれました。



「あなたはあなたのまま**で**いい」から「あなたはあなたのまま**が**いい」～そんな時代であることを改めて実感するとともに、他者とのコミュニケーションの取り方や行動の在り方など、専門性に富んだ話も聞くことができ、有意義な講演となりました。

レモンさんの行動力と学び続ける姿勢は、私たち大人にとって忘れかけていたものを思い出させてくれ、勇気とやる気を与えてくれました。刺激的な講演でした。また機会があれば是非お話を聴いてみたいと思います。

第４分科会「家庭教育とＰＴＡ」



嬉野市で行われた第４分科会では「家庭教育とＰＴＡ～情報社会で問い直される家庭教育とＰＴＡ活動」をテーマとし、講演や研究協議が行われました。パソコンやスマートフォンの普及により、家庭において親子が直接ふれあう機会が減っている中、家庭としてどのようにふれ合いの機会を増やせるのか、地域の活動を含めてＰＴＡ活動は子どもたちとどのようにつながって家庭と連携を図るのか、などを柱に協議を深めました。埼玉県の高校では、ＰＴＡが保護者に「生活アンケート」を実施し、その結果を踏まえ講演会の内容を設定したり、新潟県の高校では、ＰＴＡがスマホ用Ｗｅｂサイトを開設し、広く情報を発信しているといった話もありました。家庭における会話やふれ合いのきっかけづくりとして、学校ホームページに掲載する記事を効果的に活用することなどに取り組んでみるのもアイディアだと思いました。ＰＴＡと先生方、そして生徒会が連携してよりよい活動ができるよう頑張っていきたいと、心を新たにしました。

特別第２分科会「主権者教育～未来をつくる　わたしたちの使命」



佐賀市で行われた特別第２分科会は、主権者教育をテーマに高校生２名を含むパネリスト４名により、ディスカッションが行われました。選挙年齢が満18歳に引き下げられた中、若者がいかに主体的に主権者として社会参加を果たしていくか、自ら考え、自ら判断する主権者を育むために教育活動はどうあるべきか、について協議を深めました。ディスカッションでは、「主権者教育が選挙で投票することの教育になってはいないか。主権者教育の趣旨は本来そうではないのではないか。」「教育現場においても、手探りで取組を進めている。」「主権者であることや政治に興味を持つことは大切であると認識しているが、実際の生活との関わりを実感できない。」などの貴重な意見が多く出されました。まとめとして、継続的に教育していくことによって主権者としての自覚を芽生えさせることが大切であるとのお話しがありました。

また、佐賀東高校演劇部が、主権者としてどうあるべきかをテーマに劇を上演し、その素晴らしさと感動に会場の拍手がなりやみませんでした。

次年度の北海道大会は苫小牧市で、全国大会は京都市で開催される予定です。